

思考・判断・表現力をつける社会科授業

東北福祉大学 有田和正先生

1 私ごと

・暮れに体調を壊し、入院。血糖値上がり、点滴をした。アルコールいれてといたら、看護婦さんに怒られたが、看護婦さんは冗談とわかっているので、お好みは？酔い心地はどうですか？と聞いてきた。ユーモアのわかる看護婦＝ユーモアの分かる若い教師が大切である。

・3人のチーム＝学校でもチーム。リーダーがいて・・・いい治療法が浮かんでくる。

2 おもしろいことをやろうと思って

新聞を提示する(6枚をくっつけたもの、震災の記事)

形を黒板に書く 絵を描く。3m、2.6mと数字も書く

これは何を表しているか。(原発の記事、震災の記事3・12からずっと新聞をとってあるが、関係ない)新聞記事の原点を表している。＝8畳一間ある。

誰か分かるか。

1回しかまだ使っていない、その時はだれも分からなかった。分かりませんよね。

教育技術学会で授業(福岡で)

誰でもつくれるからぜひこれ作ってやるといいんじゃないでしょうか。

これは一体何を表しているか。

C：避難所？

T：違う。福岡と関係がある。といってもわからないよね。私は作ったからわかる。((笑))

C：元寇に関係があるのでは？

T：そうなんですよ。すばらしい(拍手)

元寇の・・・何でしょう？

元がせめてきました。せめてきたとき、こういうものをつくったんですね、鎌倉幕府がこれをつくりました。今こういうお菓子があります。おかしい話ですが。 絵を描く。

元寇防塁・・・元寇防塁です。この御菓子うってます。インターネットで探したら住所電話番号かいてあって、連絡したらすぐに送ってきました。お金は振込。(笑)

必要な方は、(お菓子を見せる) こういうお菓子です。電話が092-631-1892というところに電話するとおかみさんが電話で何個いりますかといきなり聞きます。

これを使うと防塁ってわかるでしょ？防塁っていうのは、鎌倉幕府が、元が攻めてきて、

文永の役でやられた、1276年。全部で11回、元の家来になれっといってきた。来たお客をそのうち2回切り殺した。絶対攻めてくると思った。だから防塁を作った。

その長さが、博多湾まで全部で長さ20km。これは大変なこと。そして、1281年に弘安の役があった。

どういうふうにしたか。

一番最初に1268年1月、フビライから最初の使いが来て、手紙をよこした。

手紙「大蒙古帝国皇帝が日本国王に奉る・・・」(聖徳太子が隋へ書いた手紙に似ている。)という書きだし+高麗を属国としたことを強調して書いて「日本は高麗の近くにあつて、中国とは付き合いがあつたのに、元になったら日本が使いを全くおくらない。入国しろ(家来になれ、貢物もつてこい)」といってきた。しか

し、日本は断り、追い返した。そして、海岸に警備をおいた。

今回の東日本大震災も、三陸海岸という万里の長城ほどのものがあつた。しかし、ほとんど全部やられた。その海岸に防塁・堤防を作つた。その原点が、コレじゃないかと。日本の防災の原点と私は位置づけた。これをしっかり調べれば、日本の防災はこのころから設定してたということが分かると思つた。調べてやることにした。

文永の役は1274年。壱岐対馬を侵略。19日博多湾侵略、20日に博多湾西部上陸。どんどん攻める。ここからずっと南に大宰府がある。ちょっと手前に水木というところがある。その水木まで攻められた。日本軍は、大宰府まで退却。ここまでやっと逃げた。ところが、夜になったら、運がいいことに、蒙古軍怖い。日本人はゲリラ活動する。ということで、引き上げた。船に戻つた。戻つた時、夜、台風がやってきた。元1300人死に、船沈没。全滅に近い形で引きあげた。

それからが大変。

ここから、防災対策が始まつた。

第一 博多湾沿いに、今津から香椎(かしい)まで20kmにわたつて防塁を築いた。

防塁 = もともとは、石築地といわれていた。

石築地から変わる。

このころから日本も変わってくる。

今津から香椎(かしい)まで、九州 = 9つの国その国、すべてに割り当てた。つまり、九州の9つの国に、1つずつ石築地 = 石垣を、防塁を作つた。

この防塁の石垣をもつていって、福岡城を作つてしまった。今は、石垣を嚴重に作り直して、囲いをして、教育委員会にいて、かぎをかりていかないと中には入れない。写真は撮れる。

これが、1つめ、1番は防塁を作つた。

2番目は、年貢。守備兵の食料にあてた。鎌倉幕府が最も元気がいいとき、支配力のある時、高運だった。石築地が元寇防塁に付けくえられたのは1913年、中山氏が正2年に元寇防塁とし、今に残っている。

3番目、朝廷と幕府がうまくいっているときだったことが幸運

4番目、異国警備役、これをつくつて、九州の西の御家人を当てた。

防塁を築くことで、大事なものを築こうとした。築くことによって、当時の人々に人々の心の中に防塁を築いた。鎌倉幕府の方針は、人々の心の中に防災意識を目覚めさせた。

東日本大震災に逃げなかつた人がいる。防塁は築いているが、心の中に逃げる意識がない。ハード面はきっちりやっていた。しかし、ソフトの心の中に津波がきたら、一早く逃げる・それをやった所が1か所あつた。

それは・

#### 岩手県の釜石市

防塁を築いた (群馬大学教授 片田敏孝) 釜石市に7年間通つて、毎年10時間、授業やっている時に突然『津波が来た!』といつて、にげる教育を3000人の子どもに。

7年やって、今回なくなつた子どもは5人。99.8%の生存率 = 釜石市の奇跡といわれている 今や日本の奇跡と言われている。

文科省が取り上げて、一早く、釜石市の防災教育をやっている。

かまい市の防災教育

教授がやったこと

- 1 とにかく一早く逃げる。徹底する。助からなかつた人 = 逃げなかつた人だから。
- 2 自分の命は自分で守る。
- 3 ハザードマップを信用するな。

(津波が来た時、ハザードマップにのっている御在所の避難所とこまで逃げた。ところが、ここは危ない。

ということになり、上に逃げたら、すぐ下まで水がきて、御在所が水没していた。)

教育は奇跡を起こす = 岩手の人が一番感動した。

奇跡を起こすのは、教育以外にない。

今日の津波はみんな想定外。想定外のことを想定することは別の能力がいる。

今、文科省が示す、学校教育法で示された、学力は習得・活用・探究だ。

こういう学力観を導き出した。指導要領は、習得・活用・探究この3つで、想定外のことを想定できない環境になっている。今日はこのことを先生方に話したかった。

この3つは想定内である。想定外のことを、想定できるようにするには、どういう教育が必要かということ、習得・活用・探究の対極にあるのは創造力(指導要領の対極)・イメージーション。

子どもたちに、もっとイメージ豊かに、知識も大事だが、創り出す力、思考力、それを表現する力そういうことをやらなければならない。ということを通して学んだ。

防壁を築くことで、一人一人の心のなかに防壁が築かれていった。

元寇は、第二次世界大戦にも匹敵する

秋田で訪ねた。

一番怖いものは？

=津波ではなく、モーモ・・・意味がわからない。

モーモのとは？ = 蒙古のこと。

東北の秋田では、「モーモが来たよ」というと子どもが泣きやむ。

第二次世界大戦に匹敵する大事件であったと思い知らされた。

秋田でおばあさんに教えられた。

子ども達に、危険だと思ったらにげる教育。自分の命は自分で守る。

避難訓練の緊張感が足りない。

逃げるたびに点呼 74%の子ども死

点呼していない釜石市 99.8%生存

学校で避難訓練 インパクトな話をして、逃げる教育を徹底する必要がある。

1/4盛岡

話した話、釜石市の奇跡・・・教育は奇跡を起こすと話した。先生たちの真剣なまなざし。

先生方に、どこに行ったら一番安全かと聞いたら、例の3つを、それを、ぜひやってほしいと思います。と言われた。

1281年、弘安の役。こっちが海です。海の方は登れない。こっち側はいけるように作った。

6年生の最後の授業にやってほしい。命を大事にしましょう。そういう教育をもう一度やり直すようお願いしたい。

この防壁があって、弘安の役のときには、誰も上陸できなかった。14万の兵だれも。

そなえあれば憂いなし。でも東日本大震災は、備えはあっても憂いがあった。

東日本大震災ではハード面だけではダメ。ソフトもきっちり鍛えた釜石市が奇跡を起こした。

教育は奇跡を起こす。奇跡は教育しか起せない。先生方、自信をもって。奇跡を起こす教育を行ってほしい。

奇跡を起こすのは三つしかない。

防壁が機能して、防災になった。

## 元の兵隊の構成。

弘安の役・・・14万

文永の役・・・4万5千

よく見ると・・・

図書館って「元寇」という本かりた。その中に詳しく書いてある。

何がわかるか

1つ目

文永の役・・・本来の蒙古人は30人（2万5千のうち）

あとは蒙古にやっつけられた国の人

そういう人が蒙古のために、一生懸命働きますか？

弘安の役・・・本来の蒙古人150人（14万のうち）

あとは、蒙古にやっつけられた国の人（トルコとか）

150人は船のよしあしがみれない。

短期間にもすごい船の数のそれを見抜ける蒙古人がいなかった。

坂の上の雲を見てわかるように、上に立つ人は見る目がないといけないー教師も子どもを見る目がなくてはいけない。

元が日本に負けたわけ、は蒙古軍そのものの構成に問題があった。戦う前から、構成上でも負けていた。というのが私の結論。

元寇と言う本の中にも、そういうことがちょっと書いてあった。

もう前に決まっていた。

防塁は役立ったけれど、元の構成そのものに問題があった。

2つ目

大将同士が、こうを合せた点。

## 坂の上の雲

バルチック艦隊をやぶった・・・T型作戦。

一列に並んで攻めていったから、玉があたらない。

東郷さんがあみだした作戦。 説明

蒙古軍は船を見抜く力がなかった。

蒙古軍の日本の勉強不足

蒙古は、わざわざ台風の時期にやってきた 地理の勉強不足

何でも勉強しないとだめ。

想定を超えても対応ができるようにする。 応用力、=イメージ力、創造力を徹底的に鍛えておく必要がある。

よく練習をしておく必要がある。

## ディズニーランドの防災協力

Q：ディズニーランドの防災教育は？

A：約80回

お客さんがきている中でやっている。

1か月の間営業停止をしたけれど、修学旅行生のために、中で食事もあたえた。信用が上がる。  
何かあったらディズニーランドへいけ！といわれるくらい。  
私たちはこういう教育をする必要がある。  
奇跡を起こすために教育がある。教育をやる。

防塁 = 日本の防災教育の原点

ところが違っていた。

もっとあった。もっとはるか昔に、防災教育の原点があった。

中大兄皇子 (= 天智天皇) 助けをもとめて200隻の船をだして

663年 応援にいった くてんぱんに負ける。

2つの国から挟み撃ちにされて、命からがら博多に戻る。

・ ・ しかし絶対日本にせめてくる、防塁を築かなくては。

664年 水城 (= 防塁) を築く。だいたい1~1.2kmの長さ( 絵を描きながら)

水をためておいて、敵が攻めてきたら水を送る仕組み。

水城においたのは、有名な防人( さきもり )。東北の人がたくさん動員されて、3年間。給料わずか  
食事のみ。防人の歌につながった。

( インターネットでもいい情報がある。世界大百科という本にもある。( 値段だけあって、詳しい!! )

757年 せめてこないということが分かって、防人をやめた。

残ったのは東北の人だけ。

日本の目は人このはくさいのえの戦いから東へ向かず西へ向いていた。常に西へむいていた。

だいたいこれでお話した。

いずれにしても、日本の防災教育の原点は福岡にあった = 結論

福岡から始まって福岡に終わった・・・第一話

模擬授業にしたかったけれど、難しすぎて講義になってしまいました。

K ケネディ大統領「日本は短期間に復興できたのはなぜ？」

小泉：日本は自然災害が多いから

K : 自然災害が多いとなぜ？

小泉：前よりもいい国にしようと、復興に力をつくし、復興が早い。

今回の大震災で生きているのではないか。

東北へ行ってみて、福島は大変だが、かなり復興している。

自然災害に、日本人は強い。東北の人たちを励ましている。小泉さんがいうとおり。

今回も一番遅れているのは政府。

地域の人は一生涯懸命やっている。

一番大変なのは、福島の先生方。

先生が足りないため、東京から200人先生を派遣。TTもたりない。300人多採用。

今回の地震で一番怖かったのは放射能。

福島へ行って、電車が急いでいるんじゃないかと思うくらい。速い。(笑)

福島の県庁所在地も止まらなかった。名古屋に止まらなかった電車があったけれど、そんなのはいかん。

東京、ニューヨーク往復して、受ける放射能は0.2シーベルト(体に受ける放射能の単位)

インドのケダカ州70ミリシーベルト。常に70mシーベルト受けるところがある相当なものだが、がん患者が多いかといったら違う。

こういう地域がインドにある。驚き。

私たちは、200gシーベルトは受けている。

自然被ばくとして2.4ミリシーベルト常に受けてる

年間に日本人1.5ミリシーベルト(少ない)

花こう岩(放射脳がおおいといわれる)西の方に多い。西日本に行くほど、うけるシーベルト高い。

#### 一番驚いたこと

CT = 一回で7ミリシーベルト受ける 間をあけて受けなければいけない。

世界のCTの3分の1は日本にある。

世界で最もCTが普及している。がん治療が進んでる。(自分がCTを受ける時に質問、メモをして知った)

東北大学の先生

つながりを探すことは大事。

CT = 肺がんが一番効果あり。

医者はすぐCTにとってこい。というけれど あまりよくない。

T: さて、これは、何県ですか?

C: 沖縄。

T: ここは? これはあるものが世界一とれるところ。すっばいです。

C: もずく

T: 正解(拍手)。日本では沖縄でしかもずくとれない。世界一です。去年は1万51千トン。

沖縄でたべるもずくはこいいです。こちらへんでたべるもずくは水ばっかでどこにあるか分からない。

ここは、リョキヤク半島です。宮古、八重山、石垣島、3か所くらい。

もずくはなぜふやかしているのか。

もずくは食べたほうがいい。体脂肪の多い人は、毎日食べるとスマートになる。

もずくは、海の中で作る。海の中はどうなっているか。 絵で説明。(網遠浅でないとダメ。5mよりもふかくて7mよりも浅くないとダメ。なぜか。自然に合わせたらこの深さになった。もずくの生え方も説明) どうやって、とるのか。

アクアランプつけてともぐらないといけない。どうやってとるか?

3月から5月までの間がとれる時期。その時期に成長する。

のりは刈り取る。もずくは、掃除機の逆さにしたもので取る。もずくは孢子で増える。孢子がついたら網が

黄色くなる。そうしたら、入れる。12月くらい。そうしたら、3月ごろから伸びる。このことを知ってもずくを食べると元気がでる。

どんな海がいいのか。どこの海だっがいいか。

ダメ。

- 1 白い砂地。日が当たらないといけない。太陽が原点。白い砂だと反射し、上下から日があたる。
- 2 年中暖かいこと。
- 3 遠浅の海。
- 4 日照時間が長い。
- 5 川があつたらアウト。色んなものが流れ込んで汚くなるから。
- 6 森林がないとダメ。周りに木がないとダメ。この半島には木が植えられている。

養分が染み出るから。エネルギー源が染み出るため。

5年に一回腐る = 海がよごれるから。

日本でもずくが、沖縄だけでとれるということを知っている人はあまりいない。でもそこでは、どんな食べ物でもずくが付く。もずくが長寿の原因。と組合長がいていた。

一番困ることは、赤土の流出があつたら、全滅してしまうこと。(名護は赤土が多い。赤土はパイナップルにはもってこい。宮里藍ちゃんの家は社会的なゴルファーになったのは、パイナップルのおかげ。広いパイナップル畑で収入が上がって、その収入でゴルフに投資した。パイナップルが生んだゴルファー。)

他に、生活排水が流れこんでくることや、森林伐採も困ること。

沖縄はおもしろい。

それぞれの地域に宝がある。

名古屋のスーパーでももずくは1年中売っている。

もずくは3こ食べて沖縄の1個分。99.5%は県外へ。

(沖縄では0.5%しか消費していない。)

スーパーマーケットは、50か所、指定の所でうっている。

平成26年社会科の全国大会。学校で、5年もずくの授業をやる。3年くさ、トイレの授業頭の上に荷物をのせて運ぶのも沖縄発祥。この授業も3年生でやる。

変わった教材が宝になる。

名古屋の授業は・・・道路の話(街路樹)

名古屋は道路に銀杏のメスを植えている。秋は銀杏が落ちて臭い。オスを植えるべき。

オスとメスの話。 絵で説明。

オスはVの字になっている。メスは横に伸びている。

なぜでしょう・・・ということ覚えなといけない。

丸暗記はダメ。

オスは子孫を残すためにV字系になっている。

メスはオスの花粉を受けるためにこの形面積が多い。

## 話がちょっととびますがついでに

(地図記号マークを黒板にはる)

高原と高知はどう違うか。

高地に人がすんだら、高原になる。 こういうことに興味をもってやる。

## 温泉一番古いのはどれ?

明治11年(初めて地図記号ができた) 四角から3本

明治18年 ふんすい

明治33年 線がふにゃふにゃ(今の記号と同じ様)

大正6年 線がまっすぐ

平成14年 線がふにゃふにゃ(明治33年と同じ様に戻った)

何がしたいか。 地図記号なんて覚えてって意味がない。変わるから。

でも温泉くらい知っていた方が気分がでる。

## 小学校の内容

中学 4月から新しい教科書に代わる

特徴は学習指導要領に、小学校の内容を重視しようとなっている。

中学は小学校の内容をベースにして、中学に発展させる = 学習方法がふんだんに = 振り返ってみよう  
ためしてみよう

注意して、中学の先生は読んでいただきたい。接続詞に注目

最後に小学校と同じなので、文章ではわからない。

しかし、中学の教科書には、**ハイテク技術**が各所にちりばめられている。

一番いい例が、富岡の官営製紙工場 明治初めにできた。(1872年明治5年)

## 群馬富岡製糸場

= 世界一のハイテク工場 これをよみとることが、教師の教材研究

世界はフランス。フランスのブルーナに総理大臣なみの給料をあたえ、日曜日休み8時間労働。全国から日本女性404人よび、女性の技術者が教える。それだけのハイテク技術が江戸時代の中ごろにあった。

こういうことを子どもにちょっと触れると、目がまるくなる。そういう説明ができるかどうか。

その前のページには**新橋横浜間の列車**・・・技術・・・イギリス

お金・・・イギリス・・・日本は土地を提供しただけ。

・・・しかもハイテク技術。明治五年から何年たった? 現在イギリスの新幹線の技術は全部日本から世界に。新幹線の技術は日本のハイテク技術しかも世界一。そういうことを教師が触れる。

これが教師の教材研究

## 縄文土器

世界の土器のハイテク技術。

12000年前に世界一早く、スープを世界で最初に飲んだのは日本人。そういう

仁徳天皇の古墳・・・何年たってますか？全然こわれな。作った当初から、4000の都市で使われている。  
奈良の大仏・・・ハイテク技術。

世界中の銅を扱う技術者をアジア(中国・韓国・日本)から集め、その人たちを、技術を有効に使い、  
大仏をつくった。

本に、付箋をはってあるところがこんなに、あるが、これは、全部ハイテク技術。

こういうことを、ハイテク技術を沖縄に行った時、子どもたちは、本当に目をまるくした。

日本ってすごいな。と思わせることができる。そういうことが教科書に、おもに写真で説明してあるから、しっかり読み取って、活用する。子どもには、知識に対して貪欲になる。愛国心も育てる。(日本てすごい。この国ってすごい) こういうことを、子どもの心の中にはぐくむことが愛国心なのではないか。

教科書を再度見直していくと、スルメみたいにかめばかむほど味がでてくると思います。

今言ったことをヒントにして、先生たちには読み取って教材研究していただきたいと思います。

ありがとうございました。